

YMCA NEWS 金沢青年

No.31(2022 年 8 月号)

発行所:金沢キリスト教青年会 〒920-0998 金沢市里見町 44-1 里見町タウンハイツ 201

TEL/FAX(076) 255-7782

<http://sophiruka.sakura.ne.jp/kanazawaymca/index.html>

YMCA 野外活動を通して —すべての子どもたちの笑顔が溢れる社会・世界を目指して—

金沢 YMCA 評議員・元奈良 YMCA 総主事 藤井 辰男

「げんきっこクラブのおともだち みんなと仲良く冒険だ つくろー あそぼー みんなでやってみよ ヘイヘイヘイ……」ミッキーマウスマーチの曲に合わせ、元気いっぱいテーマソングを歌って、さあ！出発。

奈良 YMCA の7月例会(2022 年 7 月 10 日)は、「げんきっこクラブ(幼児)」と「トムソーヤクラブ(小学生)」の合同デイキャンプです。バスに揺られ奈良から1時間半、ようやく琵琶湖に着きました。湖の浜辺に広がる風景が子どもたちを歓迎しています。波の音、鳥のさえずりが聞こえてきます。身体いっぱいそよ風をうけ、みんな微笑んでいます。コロナ禍での緊張の中ですが、自然を心の中で感じながら子どもたちの心が満たされる瞬間です。笑顔いっぱいで仲間と楽しく遊ぶ子どもたちの姿に、リーダーたち自らも勇気づけられます。

私は今、奈良 YMCA 野外活動のアドバイザーとして、子どもたちを対象に大学生ボランティアリーダーと月に1回、野外で過ごしています。

「キャンプや野外活動は自然の中で、みずみずしい生命感をとりもどすことである」と言われています。自然を肌で感じ、人間のもっている五感を豊かにすることにより、他者への思いやりの心、花や植物にもいのちがあることに気づき、愛らしく思う心が育まれるのです。

この夏も多くの子どもたちがYMCAのキャンプや野外活動に参加しています。「生命」の大切さに気づき、仲間と共に支えあう喜びを知り、生きていることの喜びと感動に出会えたことでしょう。

メンバーのお母さまからお手紙をいただいたことがあります。「例会当日体調が少し良くな、リーダーに抱っこしてもらい、女の子にリュックを持ってもらいました。お二人の優しさに触れ、しんどい人がいたら自分も優しくしてあげると申しており、心にしみました。優しく寄り添っていただき本当に有難うございました。『最高の教育を有難うございました』と記されていました。これを聞いて、どれほど YMCA のリーダーたちは勇気づけられたことでしょう。

今日、世界の平和が脅かされ、また新型コロナウイルス感染が急拡大する中、今の社会・世界に生きる私たちは、「いのちの痛みへの共感」を失ってははいないだろうか。イエスさまが深く憐れまれたように、私たちは人の痛み苦しみを分かち合い、支え合って生きていくこと。「弱い立場の人々と共に歩む」イエス・キリストに従うことです。

YMCA が果たすべき使命・役割とは、キリストの愛と平和を世界や地域社会に指し示し、共に生きる平和な世界や豊かな地域社会の実現をめざし、実践していくことではないでしょうか。

YMCA の野外活動を通して、「すべての子どもたちの笑顔が溢れる社会・世界」を目指し、これからも「生命の尊さ」「平和」を伝え、歩み続けたいと思います。YMCA の働きが、神様の愛を届ける架け橋となつて。



奈良 YMCA 合同デイキャンプ(みんなで力を合わせて琵琶湖をスイスイ！)

YMCA と WFM～平和の実現という観点から～(その 2)

金沢 YMCA 理事・世界連邦運動協会(WFMJ)執行理事 平口 哲夫

東北大学文学部入学の当初、とりあえず簡易アパートに入居、森野善右衛門先生から紹介していただいた仙台広瀬河畔教会の聖日礼拝に出席。ほどなくして下宿に入居。その下宿屋は簡易旅館を兼ねていて、食事も似たようなものばかり出るので、もっと学生に相応しい下宿はないものかと探していたところ、広瀬河畔教会牧師の娘さんから東北大学キリスト教青年会館(溪水寮)で寮生を募集しているという紹介があり、面接を受けて入寮が認められました。当時、溪水寮は仙台市上杉 3 丁目 7 番 8 号にあったので、寮に近い場所にある教会のほうが通いやすいよと、先輩の寮生から勧められた仙台東六番丁教会に行くことにし、籍も若草教会から東六番丁教会に移すことになりました。文学部の考古学科を卒業して修士課程に進んでからの 2 年間は仙台市米ケ袋の民家で間借り生活、博士課程では 2 年間の約束で主事として溪水寮で生活、その後、米ケ袋の間借り生活に戻り、1974 年 3 月に文学研究科博士課程単位取得満期退学、同年 4 月に金沢医科大学教養部(現・一般教育機構の前身)の歴史学講師に着任しました。

金沢に戻ってきたので教会の籍も東六番丁教会から若草教会に戻しましたが、金沢 YMCA の会員になったのは 1983 年になってからのことです。当時、金沢 YMCA の主事補をしておられた上関和夫氏が泉丘高校ハイスクール YMCA の 1 年先輩であったことから、さそわれて金沢 YMCA に入会した次第です。

その後、金沢ワイズメンズクラブの例会で、能登真脇遺跡の縄文時代イルカ漁について卓話したことがあります。ワイズメンズクラブというのは経済的に余裕のある人たちの集まりというイメージがあったので、乏しい研究費を自費で補って研究活動をしている、懐かしい身では、おさそいを受けてもお断りしたことでしょう。ところが、2004 年 4 月に脳梗塞になり 20 日間ほど入院して人生観に変化があった頃、金沢 YMCA 会員の三谷信三さんからお声がかかり、同年 11 月 25 日(木)に金沢国際ホテルで開催された金沢犀川ワイズメンズクラブ 11 月例会で“華徳の世界～平口幸枝の洋画展～”と題して、2002 年 7 月に亡くなった母の絵画作品についての卓話をしました。それがきっかけで、2004 年 12 月 22 日(水)、金沢ニューグランドホテルで開催された金沢犀川クラブの 12 月例会で私の入会式が行われるに至りました。



前置きが長くなりましたが、若草教会、ハイスクール YMCA、学生 YMCA、シティー YMCA、ワイズメンズクラブという経歴を辿ってから本論に入る必要があっ

たので、ご容赦願います。

◇世界連邦運動協会(Word Federalist Movement in Japan)に入会

2001 年 9 月 11 日のアメリカ同時多発テロ事件から 2003 年 3 月のイラク戦争までの事態を見ていて国連の限界を痛感し、「世界連邦のようなものを設立しないと」と思った私は、そういえばそういう運動があったはずだと、インターネット検索してみたところ、世界連邦運動協会(以下 WFMJ と表記)のウェブサイトに出会い、さっそく入会しました。すると、東京にある本部事務局から連絡があり、「石川県には金沢支部というのがあるから、連絡をとってみたいかが」というお勧めがあったので、金沢支部の事務局にファックスで挨拶状を送りました。その返信には「よろしかったら金沢支部のほうに会員の籍を移していただけないか」という主旨のことが記されていたので、このお勧めにも従うことになりました。当時、私は 58 歳だったのですが、金沢支部も香林坊支部(のちに金沢支部と合併)も会員の多くは高齢者だったので、私は若いと見られて役員に任じられ、2005 年度には WFMJ 石川県連合会の理事長を引き受けることになり、本部執行理事会の執行理事も本部の会長から仰せつかって現在に至っています。

WFMJ に入会する前年の 2002 年度から、勤務先の金沢医科大学では、教養科目は第 1 学年開講の「総合人間科学」に統一され、学生は 3 学期制カリキュラムにおいて、学期ごとに簡潔する複数の総合人間科学授業の中から 6 授業を選択することになりました。私は学期ごとに二つの総合人間科学授業を担当、そのうちの 하나가「戦争と平和」でした。私の専門分野である考古学の知識を活かしながら、金沢医科大学では広く歴史学・人類学系統の講義をし、その中で戦争の起源から説き起こした話もしてきたのですが、「戦争と平和」と題して一つの授業を担当する以上、関連学会で研鑽したいと思い、日本平和学会にも入会しました(2011 年に金沢医科大学を定年退職したのを機会に退会)。



世界連邦運動協会は、世界の WFM と連携して国際連合を改革・強化し、すべての国々の独自性を守りながら地球規模の問題を扱う民主的な世界連邦をつくり、世界の恒久平和を築くために活動しています。上掲の WFM シンボルマークには World peace through world law(世界法による世界平和)という標語が記されています。国際連合安全保障理事会の常任理事国は、いまだに第二次世界大戦の戦勝国で占められ、そのうちの一国が国連憲章を無視してウクライナを武力侵攻したのですから、国連安保理は機能不全に陥り、その権威

も失墜してしまいました。法治国家のごとく法治世界が実現しないかぎり、世界の平和は維持できないのです。

◇乳児以来の体験

私が編集副委員長(主として校正を担当)をしている『世界連邦 NEWSLETTER』の 661 号、662 号、664 号、665 号、666 号、669 号に「会員の声 1945 年生まれから見た“戦争と平和”」と題して連載記事を投稿しました。その最終回の冒頭 4 段落を以下に転載します(転載した段落の頭には記号)を付す)。

〉 2021 年 12 月 8 日、北國新聞の記者からハワイ真珠湾攻撃に関連した資料を得たいので訪問してもよいかとの電話があった。たぶんウェブサイト「金沢ひまわり平和研究室」が記者の目に留まり、何か関連資料を所蔵していないかと思って電話をしてきたのであろう。太平洋戦争末期の 1945 年 4 月に敦賀で生まれ、敦賀にあった母方の実家が私の生後百日目に空襲を受けて焼失したことを手始めに、2001 年 9 月 11 日のアメリカ同時多発テロ事件をきっかけに米国がアフガニスタンを侵攻、さらにはイラク戦争に踏み切った経緯をふまえ、世界連邦の必要性を痛感し、2003 年 3 月に世界連邦運動協会に入会したことを記者に伝えて、取材に応じることにした。

〉 拙宅に取材に来た記者は、記者歴 4 年目という若い女性であった。まず、「会員の声 1945 年生まれから見た“戦争と平和”」(その 1~その 5)掲載の号を含む世界連邦 NEWSLETTER 第 661~第 668 号と、「国連の弱点克服こそが大切—若い世代につなごう世連運動—」掲載の世界連邦石川第 29 号を、世界連邦運動協会のリーフレットと共に手渡した。四方山話の結果、北國新聞夕刊コーナー「舞台」に何か書いてくれないかということになり、後日、「世界連邦運動協会県連合会の理事長」の肩書きで「真珠湾攻撃」や「戦後の体験など」をとの Eメールが記者から送られてきた。しかし、370 字以内という制限字数で期待に応えるのは難しいので、ごく限られた内容にとどめることにした。この「舞台」欄で簡略に記したことのうち、これまで私の「会員の声」では触れていないことを以下に詳述する。

〉 1989 年 8 月 1~6 日に米国シアトルで開催の環太平洋先史学会議に招待され、「真脇遺跡におけるイルカ捕獲活動とその縄文時代社会への貢献」と題して英語で口頭発表した。会議終了後の 7~12 日、



カナダ・バンクーバー島を巡る学会主催ツアーに参加したところ、車の同乗者 9 名の中に「真珠湾生き残りの会」会員がおり、「君たちに責任はないが」と言って会員証を見せてくれたので、「私は 1945 年生まれで、B29 による空襲

の生き残りです」と答えた。掲載写真は、ツアーの最終日(日本時間 12 日)に島のフェリー波止場で、車の同乗者たちと撮ったもの。運転手兼ガイドを含めて 9 名のうち日本人は南川雅男氏と私の 2 名、シャッターを押したのは南川氏。

〉 母が話してくれた思い出によれば、満州の大学で動物学を教えていた伯父(母の兄)が実家に帰省中の 1941 年(昭和 16 年)12 月 8 日、開戦の放送を聴いて「とんでもないことをしてくれた。中国戦線でさえ泥沼状態なのに米英蘭と戦争するなんて。この戦争は負けるよ」と即座に言いきったそう。軍事の専門家ではない伯父でも結末を断言できる無謀な戦争を、なぜ当時の日本軍の指導者たちは仕掛けてしまったのか。

このような疑問は子どもの頃から抱いていたので、高校に入学して世界史や日本史の教科書が手に入ると、まず近代の章から読み始め、それから原始・古代に戻って通読しました。また、父親が購入した『世界の歴史』(中央公論社)は高校生のときに全巻読み、『日本の歴史』は大学に入学してから全巻読破。

以上のような体験も影響して世界連邦運動に取り組むことになったのだと思います。

◇YMCA と WFM

私は金沢犀川クラブの『ブリテン』(月報)2010 年 2 月号・4 月号~6 月号と 2011 年 1 月号に「世界連邦運動とクリスチャン」と題して、また同ブリテン 2012 年 5 月号・6 月号に「世界連邦運動とワイズメンズクラブ」と題して投稿し、さらに名古屋東海クラブ 2013 年 1 月第一例会卓話の予稿に「世界連邦運動と YMCA・ワイズメンズクラブ」と題する一文を記しました。

この予稿では、世界連邦運動協会と YMCA・ワイズメンズクラブという NGO に入会したのは全く別の動機によるのだが、両団体にはいくつかの共通点があることを指摘しておきました。最も大きな共通点は、両方とも国連経済社会理事会との協議資格を持つ非政府組織(NGO)であるということです。もちろん大きな相違点もあり WFM は超党派・超宗派をモットーとしているので、いわゆる政治団体ではないが、平和な世界を実現するために世界連邦の実現をめざして主に政策提言をしているのだから、広い意味では政治活動をしていることになります。これに対し YMCA・ワイズメンズクラブは、主に具体的な奉仕活動によって平和な世界の実現に貢献しています。

連邦運動の創始者たちのうちの一人にクリスチャンの賀川豊彦がいるように、WFM には様々な宗派の方々が大きな役割を果たしてきたということも高く評価したいと思います。ただし、反社会的なカルト「統一教会」が名称を変え、その系列も含めて、「世界」とか「国際」とか「平和」などの言葉を使った団体を結成したり、行事を開催したりしてきたせいで、安倍晋三元首相襲撃事件後、「世界連邦」などの文字入りの名刺を差し出すと、一瞬ギョッとされるという、困ったことも起きているようです。悪貨が良貨を駆逐するような事態にならないように気を付けましょう。

《インフォメーション》

【2022 年度金沢 YMCA 第 3 回理事会】

日時:2022 年 6 月 18 日(土) 18:30~20:30

場所:金沢市長土堀青少年交流センター3 階研修室

出席:朝倉秀之・山内ミハル・幸正一誠・竹中丈晴・平口哲夫、欠席:田口昭典

議事:

1. 田口昭典の退会・退任について:2022 年度第 2 回理事会(第 1 回評議員会・定例会員総会を兼ねて開催)の際、田口理事より遠地赴任の予定があるので退会・退任したい旨の表明があり、その前提で竹中丈晴会員が新たに理事に選任されたが、いつの時点で退会・退任するかは未定であったので、遠地赴任公表の予定日である 7 月 10 日(日)まで会員在籍・理事在任として扱うことにした。

2. 2022・2023 年度理事長・常務理事等の選任について:定款第 25 条第 2 項「理事長及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。」、定款第 28 条「理事の任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。」と記されているので、理事長・常務理事の任期は 2 年とし、再任を妨げないとして運用されてきた。定款には書記についての記載はないが、理事長・常務理事と同様に任期を定めて選任することにし、理事長に朝倉秀之、常務理事に山内ミハル、書記に平口哲夫が選任された。

3. 各委員会委員長・委員等の選任について:定款第 45 条「この法人事業の円滑な推進を図るため、理事会はその決議により、委員会を設置することができる。2 委員会の委員は、理事会が選任する。3 委員会の任務、構成並びに運営に関し必要な事項は、理事会の決議を得て、理事長が別に定める。」にしたがい、今年度実施または次年度実施を期して企画を検討することができる事業委員会と委員長・委員(案)を以下のごとく立案した。

①たけのこ掘り体験委員会、②ソトゴハン〜ひとり親家庭の絆プロジェクト〜委員会(委員長 山内ミハル)、③広報委員会(委員長 平口哲夫、委員 朝倉秀之・山内ミハル)、④ニュースリーダー育成委員会(委員長 山内ミハル)、⑤青団連(金沢市青少年団体連絡協議会)関係(委員長 数澤照夫、委員 幸正一誠)、⑥英会話教室委員会(委員長 朝倉秀之)

未定の委員長・委員等については、次回開催の金沢 YMCA 第 4 回理事会・第 2 回評議員会合同会議で検討することにした。

4. 2022 年度事業等の計画について:①たけのこ掘り体験委員会:次年度実施を目標に検討。②ソトゴハン〜ひとり親家庭の絆プロジェクト〜委員会:次年度実施を目標に検討。③広報委員会:ニューズレターを年 4 回発行、ホームページとリーフレットを更新。④ニュースリーダー育成委員会:学生会員の入会を

進める。⑤金沢市青少年団体連絡協議会関係:従来実施してきたクリーン・キャンペーン、長土堀フェスティバル、ユニセフ街頭募金のうち、クリーン・キャンペーンは青団連とは切り離して金沢 YMCA と金沢ワイズメンズクラブとの共催の方向で検討する。⑥英会話教室:アメリカ人の英語講師を検討中。

5. 定款改正の件について

【2022 年度金沢 YMCA 第 4 回理事会・第 2 回評議員会合同会議】

日時:2022 年 8 月 2 日(火)19:00~21:00

場所:金沢市長土堀青少年交流センター3 階研修室

* 詳細については、次号でお知らせいたします。

【金沢 YMCA の会員・会費・寄付】

会員:本会の目的に賛同する人は誰でも入会資格があります。入会申込書に必要事項を記し、会費を納入すれば会員になります。

会費:維持会員は年会費 12,000 円、通常会員は年会費 6,000 円、学生会員は年会費 2,000 円、少年会員(18 歳未満)は年会費 1,000 円。

会費納入方法:下記のいずれかの方法で。

・郵便振替 加入者名:金沢 YMCA

口座番号:00790-8-56852

・銀行の指定口座に振り込む

北國銀行 香林坊支店 104 普通預金

口座番号:428491

口座名義:一般財団法人金沢基督教青年会

理事長 朝倉秀之

・現金で支払う

寄付:会費と同様の方法でお寄せください。

★編集後記★

かつて金沢 YMCA でも子どもたちを対象にした野外活動が盛んに行われていたことを彷彿とさせるような巻頭言をいただきました。COVID19 感染症の流行のせいもあって、主要事業が実施できず、記事不足のため、編集長が 2 ページ分の原稿を書かざるを得ませんでした。ご容赦願います。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

YMCA NEWS 金沢青年 No.31

編集委員:平口哲夫(編集長) sophiruka@yahoo.co.jp

朝倉秀之・山内ミハル

発行者・発行日:金沢 YMCA・2022 年 8 月 31 日

発行所:金沢 YMCA 事務所

〒920-0998 金沢市里見町 44-1-201

TEL/FAX 076-255-7782



理事長 朝倉 秀之

asahide0927@gmail.com

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆